

南箕輪村むらづくり委員会（第2回）会議次第

令和2年7月28日（火）

午後7時

村民センター大会議室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 会長職務代理の選出

会長職務代理者

4. 協議事項

① 村創生総合戦略（交付金事業）の検証について

会議資料1

② その他

次回会議日程 月 日（ ） 時から

5. その他

6. 閉会

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

(前回6月23日)会議資料5

年度	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度			
月	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	
地方創生関連 交付金の検証	⇔ ・令和元年度推進交付金事業 ・拠点整備交付金事業				⇔ ・令和2年度推進交付金事業 ・拠点整備交付金事業				⇔ ・令和3年度推進交付金事業 ・拠点整備交付金事業				任期 終了	⇔ ・令和4年度推進交付金事業 ・拠点整備交付金事業		
村第5次総合計 画後期基本計 画素案に対する 協議	⇔ 第5次総合計画後期基本計 画素案に対する協議													⇔ 第6次総合計画の策 定に向けた検討		
村創生総合戦 略の検証	⇔ 村創生総合戦略の検 証				⇔ 村創生総合戦略の検 証				⇔ 村創生総合戦略の検 証					⇔ 村創生総合戦略の 検証		

1. 主な協議事項

- ・村第5次総合計画後期基本計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）案に対する協議
- ・村創生総合戦略に基づき実施した事業の効果検証
（地方創生推進交付金事業、地方創生拠点整備交付金事業）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュールを変更する可能性があります。

1. 令和元年度地方創生関連事業の検証について

南箕輪村の創生総合戦略の基本的な考え方

- (1) 将来の南箕輪村の人口が減少に転じる時期を遅延させる取り組み
- (2) 南箕輪村におけるまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

地方創生関連事業については、すべて村の創生総合戦略に基づいて実施しています。

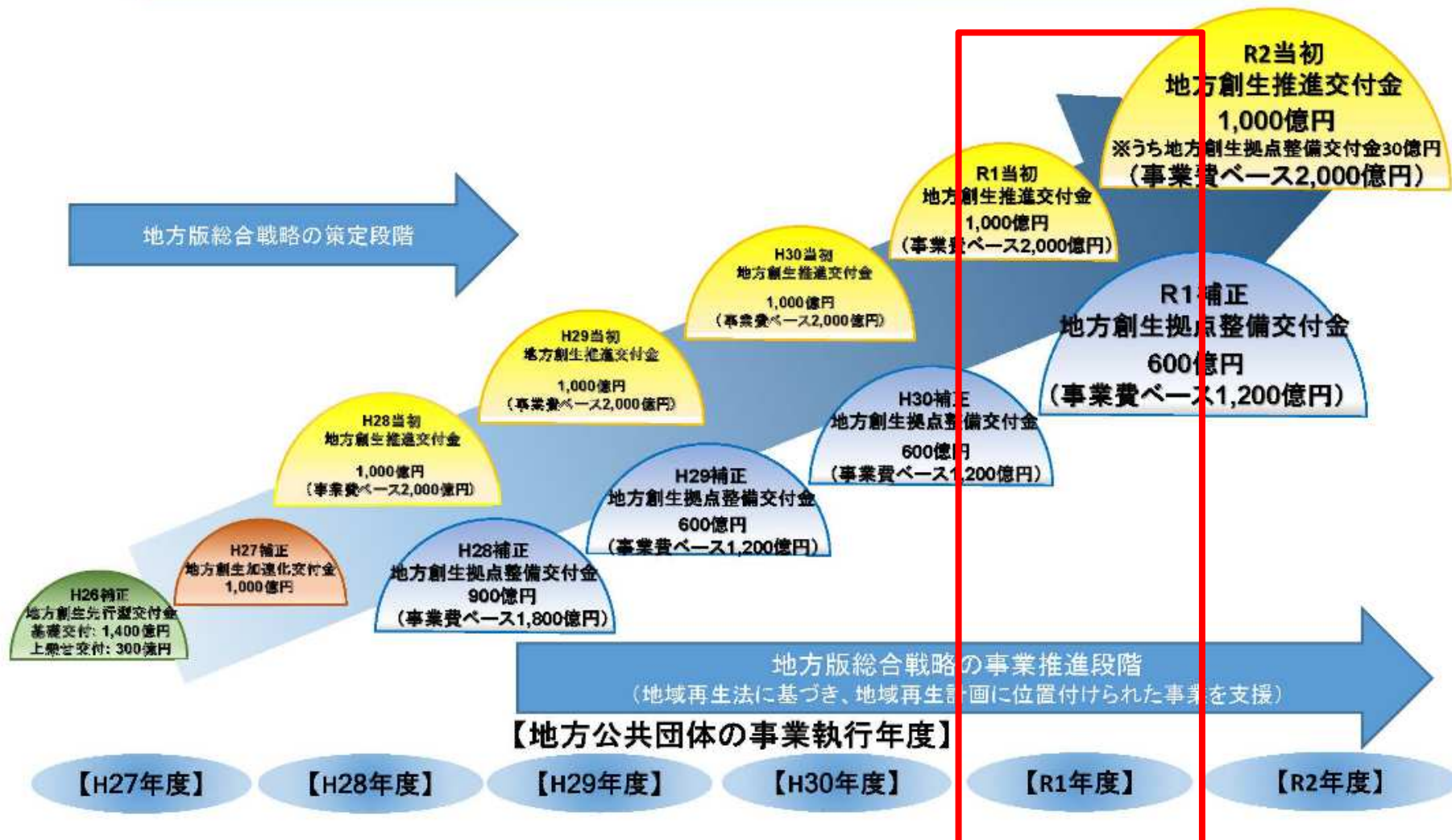
令和元年度については、平成30年度に引き続き、「子育て女性への支援」、「移住定住対策」、大芝高原を軸とした「南箕輪村の魅力開発とブランドづくり」に向けた事業を行いました。

各事業について指標及び実績値を示し、事業実施後の村の評価を3段階で表しています。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に効果があった
- ③地方創生に効果がなかった

地方創生関係交付金の概要(イメージ)

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



南箕輪村の交付金の活用状況

2

再生計画	交付金種類	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
1	地方創生推進交付金	社会で活躍しながら子育てできるむらに！ 「子育て女性再就職トータルサポート事業」		伊那地域で女性が輝くためのプラットフォーム構築事業（箕輪町との連携事業）	
2		信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業 （広域連携事業）			
		大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」			南箕輪の「輪」 拡大プロジェクト
3	地方創生拠点整備交付金	大芝高原味工房 魅力アッププロジェクト	K P I 検証		
		大芝高原「楽・わく・健康スペース」屋内運動場 整備計画			
4		人口増・子育て女性応援 の村、南原保育園施設整備計画			
5			生涯活躍いきいき 交流拠点整備計画	K P I 検証	
6			観光とお試し移住拠点 整備計画		
7			南箕輪の新商品開発拠点 整備計画		

番号	事業を行うにあたって認定を受けた地域再生計画
1	伊那地域で女性が輝くためのプラットフォーム構築事業（広域計画）
2	信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業計画（広域計画）
3	南箕輪村大芝高原ブランド化（道の駅構想）計画
4	「子育て環境日本一の村」南箕輪村ブランド増進計画
5	生涯活躍のむら「みなみみのわ」計画
6	観光とお試し移住拠点整備計画
7	南箕輪の新商品開発拠点整備計画

地域再生計画とは

地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出その他の地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地域が行う自主的かつ自立的な取組を国が支援する制度が「地域再生制度」です。

地方公共団体は、地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けることで、当該地域再生計画に記載した事業の実施にあたり、財政、金融等の支援措置を活用することができます。

南箕輪村の交付金の活用状況(令和元年度)

※総事業費には補助対象外経費も含まれるため、補助額が1/2ではない事業もあります。

4

交付金	名称	事業概要	総事業費	補助額
地方創生推進交付金 (補助率2分の1)	伊那地域で女性が輝くためのプラットフォーム構築事業(広域連携事業)	・就職相談事業 ・就職前の準備セミナー開催 ・みんなでプレワーク	8,883,500円	4,441,750円
	信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業(広域連携事業)	若者回帰・定住増進支援事業 ・保護者向け就活セミナー ・就活帰省バス ・上伊那合同インターンシップ支援 キャリア教育推進員設置	3,361,969円	1,680,984円
	大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」	・大芝高原健康コンシェルジュ設置 ・健康ポイント事業委託料 ・各種イベント企画運営委託料	2,742,250円	1,371,125円
	観光とお試し移住拠点整備計画	お試し住宅備品購入 ※拠点整備交付金事業のソフト事業分	2,147,200円	1,000,000円
	南箕輪の新商品開発拠点整備計画	プリン製造設備備品購入 ※拠点整備交付金事業のソフト事業分	5,379,000円	287,000円
	計		22,513,919円	8,780,859円

南箕輪村の交付金の活用状況(令和元年度)

※総事業費には補助対象外経費も含まれるため、補助額が1/2ではない事業もあります。

交付金	名称	事業概要	総事業費	補助額
地方創生拠点整備交付金 (補助率2分の1)	生涯活躍いきいき交流拠点整備計画	生涯活躍交流センター新築工事 内容：多世代交流室（兼作業室） カフェスペース、キッチン 休憩室、浴室及びトイレを 完備する。	55,105,100円	25,939,950円
	観光とお試し移住拠点整備計画	移住交流拠点施設新築工事 内容：大芝高原内に10人用コテージ 2棟の新設 カーポート新設 ※備品の購入は推進交付金事業で実施	69,425,180円	30,521,315円
	南箕輪の新商品開発拠点整備計画	大芝高原おもてなしプリン工房の整備 内容：大芝の湯内の事務室及び倉庫を 製造工房に改修 ※備品の購入は推進交付金事業で実施	12,221,000円	3,053,000円
	計		136,751,280円	59,514,265円

伊那地域で女性が輝くためのプラットフォーム構築事業（広域連携事業）

南箕輪村・箕輪町
平成31年4月～令和4年3月

事業の目的

女性の就業に関するニーズの把握、相談やスキルアップ講座、また実際の企業とのマッチングなど総合的な支援を実施するための環境、子どもを育てながら様々な働き方ができる環境を整備し、「子育て」と「仕事」の両輪を回すことで「女性が活躍しながら子育てできるむらづくり」を推進し、地域の働き手の増加、出生者数の増加につなげる。

R1事業の概要及び実施内容

H28～30実施の子育て女性再就職事業を箕輪町と連携し、多角化することで採択された後継事業。

子育て女性再就職トータルサポート事業

<就職相談事業>

- 本格的な就業準備の前に、子育てと仕事のバランスなど全般的に相談できる「女性就業支援アドバイザー」2名を設置。こども館内にて相談事業を実施。

<就職前の準備セミナー開催>

- 子育てや自分の生活スタイルに適合した働き方について考えてもらうためのセミナーや、働きながら子育てをしている先輩ママたちとの交流会を実施。

<みんなでプレワーク事業>

- 子どもを預けて外で働くことができない方や、就職はもう少し先だと考えている方たちに託児付きで軽作業などを実施する機会を提供する。自分の適性を知り、社会とのつながりを実感すると同時に、同じ境遇の女性とつながることで悩みなどを共有する場にもなる。



村創生総合戦略

- (1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり
(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり
施策③ 移住者や女性の就業支援

数値目標	基準値 (H25)	KPI (R2)
就労情報へのアクセス数	—	18,000件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	7回/年

R1年度の実施内容

＜相談事業・プレワーク実績＞（H28～30は参考値として掲載）

南箕輪村分	新規相談人数	延べ相談人数	就業人数	プレワーク回数
H28年計	50人	129人	13人	—
H29年計	102人	412人	51人	—
H30年計	90人	361人	63人	—
R1年計	81人	369人	50人	77回

＜セミナー実績＞

セミナー内容	日時	会場	参加人数
パソコン講座	7月8日（月）	こども館	10人
メイク講座	7月19日（金）	こども館	10人
プチ在宅ワーク座談会&ランチ交流会	9月9日（月）	フォレスト大芝	21人
子育てと仕事両立支援セミナー	10月27日（日）	箕輪町文化センター	16人
働くママとの交流会	11月25日（月）	箕輪町文化センター	13人
ママの賢いマネープラン秘訣セミナー	1月22日（水）	箕輪町文化センター	36人
働く前の準備万端セミナー	2月3日（月）	こども館	25人

ママのための 再就職応援セミナー 【参加無料・託児無料】

※参加費・託児料（先着順）に於ける定額制となります。

2019 **7・8** 10:00-12:00
パソコンの基本操作を学んで不安解消！
子育てと仕事両立支援センター（こども館内）
＜託児無料＞

2019 **7・19** 9:30-12:00
写真撮影、面接に合わせたメイク講座
子育てと仕事両立支援センター（こども館内）
＜託児無料＞

2019 **9・9** 10:00-12:00
プチ在宅ワーク座談会&ランチ交流会
フォレスト大芝（芝生広場）
＜託児無料＞

2019 **10・27** 10:00-12:00
子育てと仕事両立支援セミナー
箕輪町文化センター
＜託児無料＞

2019 **11・25** 10:00-12:00
働くママとの交流会
箕輪町文化センター
＜託児無料＞

2020 **1・22** 10:00-12:00
ママの賢いマネープラン秘訣セミナー
箕輪町文化センター
＜託児無料＞

2020 **2・3** 10:00-12:00
働く前の準備万端セミナー
子育てと仕事両立支援センター（こども館内）
＜託児無料＞

ご予約・お問い合わせ先
子育てと仕事両立支援センター（こども館内）
0265-96-8020
minaminowa.jp

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標（KPI）	事業開始前	R1	R2	R3
事業を通じた就職者数（人/年）2町村計		65人	80人	95人
実績値（うちカッコ内は箕輪町分）	50人	67人（17）		
人口の社会増減数（人/年）2町村計		185人	195人	205人
実績値（うちカッコ内は箕輪町分）	175人	183人（34）		
相談者数（人/年）2町村計		120人	140人	160人
実績値（うちカッコ内は箕輪町分）	100人	127人（46）		
企業向けセミナー等参加事業者数		22事業者	27事業者	32事業者
実績値	17事業者	27事業者		

②地方創生に効果があった

令和元年度は事業の評価指標4つのうち3つを達成、女性の就業支援という総合戦略の施策を着実に推進している事業である。

信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業 (広域連携事業)

伊那市・箕輪町・南箕輪村・宮田村
平成29年6月～令和2年3月

事業の目的

上伊那の市町村が連携し、移住・定住先として選ばれるため「暮らしやすさ」・「自然の素晴らしさ」を伝え、向上させていく取り組みを行うことで、これからの上伊那地域の産業の担い手の確保、人口減少社会における人口減少の抑制を目指す。

事業の概要及び実施内容

上伊那4市町村の連携により、以下の移住対策等を実施する。

- ①暮らしやすさを伝えるため、「職住が近接し、買い物も含めた生活に便利な地域」、「2つのアルプスの間に生まれた自然を体感できる生活」といった田舎過ぎず都会過ぎない生活情報の提供
- ②製造業を中心とした伊那地域における将来の働く場所の確保を目指した産業振興とそれに必要な人材の確保

○南箕輪村における令和元年度の事業概要

- ・進学を機に地元を離れた若者の地元回帰事業及びキャリア教育推進事業を実施
- 保護者向け就活セミナーの実施、就活生向け帰省バスの運行、上伊那企業の合同インターンシップ支援(広報・申込)、キャリア教育推進コーディネーター設置

かみいな就活プロジェクト

開催イベント一覧

※地域・年齢・性別問わず、ご希望のイベントに参加いただけます。必要なのは事前の申し込みだけです。



(WEBサイト)



(南箕輪で働く人を紹介)

村創生総合戦略

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり

施策① 製造品出荷額(4人以上事業所)

施策③ 移住者や女性の就業支援

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

施策② 村内移住・定住・若者回帰の推進

数値目標	基準値(H25)	KPI(R2)
製造品出荷額(4人以上事業所)	596億7,573万円	792億円
就労情報へのアクセス数	—	18,000件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	7回/年
移住、定住情報へのアクセスユーザー数	—	5,000ユーザー/年

大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」

南箕輪村
平成29年11月～令和2年3月

事業の目的

地域再生計画「南箕輪村大芝高原ブランド化(道の駅構想)計画」に基づき、「健康と癒し」をテーマに観光交流人口の増加及び村民の健康増進につながる取り組みを実施する。

事業の概要及び実施内容

事業概要：「大芝高原健康コンシェルジュ(案内人)」を設置し、いつでも高原内の各施設を利用した健康増進が図られる体制づくり。
「大芝高原セラピーロード」を活かした日帰りツアーや体験プランの実施

令和元年度実施内容

- ・大芝高原健康コンシェルジュの設置
- ・南箕輪村健康ポイント(まっくん健康ポイント)と連携させた取り組み
- ・大芝高原をフィールドとした健康をテーマとする観光ツアーや体験プランの実施
- ・リニューアルした味工房を最大限活かす取り組み(多目的スペースを活用した各種事業の実施)

対象：観光交流客及び住民

実施時期

- 1年目：案内人設置
(健康運動指導士)
味工房設備購入
各種プランの検討
- 2年目：ツアー及び健康ポイント
事業の実施
- 3年目：実績等を見ながらの
さらなる事業展開

村創生総合戦略

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値(H25)	KPI(R2)
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

R1 年度の実施内容

- ・「健康と癒し」をテーマとした観光交流人口の増加や住民の健康増進につながる取り組みを行う。
森の交流施設での運動講座やセラピーロードを活用したウォーキングイベントなどを実施

実施内容	日 時	参加者数	備考
謎解きウォークラリー	9月7日（土）	116名	大芝高原を活用したイベント
森林セラピーモニターツアー 名古屋発着（日帰り） 東京発着（1泊2日）	名古屋：9月28日（土） 東京：10月19日（土）～ 10月20日（日）	名古屋：19名 東京：23名	中京圏及び首都圏在住者を対象としたセラピーロードを活用したモニターツアー
健康ウォーキング体験講座	10月26日（土）	30名	講師：松本大学 根本教授
癒しと健康の3 Days	11月2日（土）～ 11月4日（月）	23名	セラピードッグと一緒にしつけ講座、スリランカのヘルシー料理教室など
健康コンシェルジュによる 運動相談・運動講座	毎月実施 （R1.5月から予約制、R2.3月はコロナ対策により中止）	延べ2,871人	ストレッチやエクササイズ、筋トレなど各種の運動講座を実施

上記のほか、地域おこし協力隊による森林セラピー体験事業の実施

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績 評価指標（KPI）	事業開始前	H29	H30	R1
大芝高原利用者数（延べ/年）		—	618,500人	620,000人
実績値	617,000人	541,000人	657,292人	599,472人
健康ツアー等参加者数（人/年）		—	140人	300人
実績値	60人	—	241人	211人
森の交流施設相談利用者数（延べ/年）		—	1,500人	2,000人
実績値	1,000人	—	3,539人	2,871人
味工房売り上げ高（千円）		—	65,000千円	87,500千円
実績値	45,000千円	—	92,973千円	84,316千円

②地方創生に効果があった

リニューアル時のH30の数値よりは下がっているものの、住民の憩いの場や観光地として多くの方に利用されている。

大芝高原味工房魅力アッププロジェクト (味工房改修事業)

南箕輪村
平成29年3月～平成30年3月

事業の目的

村の魅力開発とブランドづくり施策として、最大の観光資源である大芝高原の活用推進に取り組む。その具体策として大芝高原の「道の駅」化、農業の6次産業化の出口である村特産品等の販売強化に取り組み、大芝高原の基幹施設である味工房の改修をそのきっかけとする。また、業務拡大に伴い子育て女性再就職事業とも連携し、昼間の短時間就労の場としても活用する。

事業の概要及び実施内容

- ・ガレット・ジェラート軽食等店舗改修
- ・パン工房改修、おやき工房改修、売店改修
- ・多目的体験室改修
- ・直売所増築
- ・事務所、味噌、漬物工場増築

村創生総合戦略

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (R2)
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	H29	H30	R1	R2
大芝高原の利用者数 (延べ/年)		—	618,500人	620,000人	621,500人
実績値	617,000人	541,000人	657,292人	599,472人	
味工房売上高 (千円)		—	65,000千円	87,500千円	112,500千円
実績値	45,000千円		92,973千円	84,316千円	
子育て女性新規雇用者数 (人/年)		—	10人	15人	20人
実績値	—		11人	15人	

②地方創生に効果的があった

リニューアル時のH30の数値よりは下がっているものの、住民の憩いの場や観光地として多くの方に利用されている。

(地方創生拠点整備交付金) 29年度実績額：147,668,400円 H30以降はKPIを確認

大芝高原「楽・わく・健康スペース」 屋内運動場整備計画

南箕輪村
平成29年6月～平成30年3月

事業の目的

村の魅力開発とブランドづくり施策として、最大の観光資源である大芝高原の活用推進に取り組む。健康・癒しの森に位置づけられた森林セラピーロードや各種スポーツ施設が揃うなか、雨天時や冬場でも利用できる屋内運動場を再整備し、新たな屋内スポーツ場としての需要喚起や観光イベントでの利用、有事の際には避難所にも利用できる多目的施設とする。

事業の概要及び実施内容

- ・多目的室新設、更衣室新設、トイレ・倉庫増改築
- ・既存施設改修（非構造部材耐震改修、屋根・外壁等改修）
- ・人工芝設置

村創生総合戦略

- (2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり
施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (R2)
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	H29	H30	R1	R2	R3
大芝高原の利用者数 (延べ/年)		—	618,500人	620,000人	621,500人	623,000人
実績値	617,000人	541,000人	657,292人	599,472人		
屋内運動場利用者数 (人/年)		—	9,100人	9,300人	9,500人	9,700人
実績値	8,900人	—	12,125人	19,140人		
屋内運動場利用料 (円/年)		—	460,000円	660,000円	910,000円	1,210,000円
実績値	360,000円	—	645,635円	800,900円		

①地方創生に非常に効果的であった

人工芝化したことで、新たな利用者を増やすことができた。

人口増・子育て女性応援の村、 南原保育園施設整備計画

南箕輪村
平成29年6月～平成30年3月

事業の目的

南原保育園は、近年の人口増加により宅地化が進むエリアにある。転入者が多い地域であり、核家族化が進む中、保育園を増築するにあたり、多世代交流室を設け、地域ぐるみの保育、親を育て、支援する新たな保育園づくりを目指す。

事業の概要及び実施内容

・3部屋建築工事（多世代交流室1、保育室2） ・給食室増築工事 ・園庭整備工事（遊具移設工事ほか）

村創生総合戦略

(3) 安心して子どもを産み育てることのできる
むらづくり
施策① 妊娠出産・子育て支援の充実（重点施策）

数値目標	基準値 (H25)	KPI (R2)
合計特殊出生率	1.64	1.70
住民基本台帳人口	14,890人	15,323人

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	H29	H30	R1	R2	R3
南原保育園園児数(人)		—	170人	180人	190人	200人
実績値	150人	—	205人	202人		
村の人口(住民基本台帳人口)		—	15,219人	15,269人	15,319人	15,369人
実績値(各年度4月1日)	15,169人	—	15,382人	15,463人		
合計特殊出生率		—	1.66	1.68	1.70	1.72
実績値(村算出値)	1.64	—	1.50	未		

②地方創生に効果が あった

安心して子どもを産み育てることができる村として、増加する園児に対応する施設整備ができた。

(地方創生拠点整備交付金) R1年度実績額 : 55,105,100円

生涯活躍いきいき交流拠点整備計画

南箕輪村
平成31年3月～令和2年3月

事業の目的

障がいのある方の就労の場「ひまわりの家」が手狭となったため、隣接する場所に新たに生涯活躍交流センター「こもれびの家」を新築し、障がいのある方の就労の場としてだけではなく、子どもの一時預かりやカフェ、リサイクル品のバザーの開催など、障がいの有無にかかわらず、子どもからお年寄りまで誰もが利用できる場所とする。

事業の概要及び実施内容

施設の新築（多世代交流室（兼作業室）、カフェスペース、キッチン、休憩室、浴室等）



村創生総合戦略

(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

施策② 参画・協働の推進とコミュニティの育成

数値目標	基準値 (H25)	KPI (R2)
むらへの愛着度 (18歳以上の村民)	78.8%	78.8%以上
今後の定住意向 (18歳以上の村民)	88.2%	88.2%以上

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	R1	R2	R3	R4	R5
高齢者・女性の多世代交流拠点利用者数 (延べ人数/年)		—	10人	20人	30人	40人
実績値	—	—				
交流拠点を介して連携・交流団体数		—	1団体	2団体	3団体	4団体
実績値	—	—				
村ボランティア登録者数		—	365人	370人	375人	380人
実績値	360人	—				

②地方創生に効果が あった

必要な施設整備を行うことができた。今後の利用については工夫が必要となる。

観光とお試し移住拠点整備計画

南箕輪村
令和元年8月～令和2年3月

事業の目的

大芝高原内に移住希望者向けのお試し住宅（コテージ）を整備し、移住施策のツールとしての利用や、企業の研修・保養の場としての利用も見込む。また夏場はキャンプ場やコテージの予約が取れずに逃している観光客にも貸し出し、観光収入の増加につなげる。



事業の概要及び実施内容

- ・お試し住宅（コテージ）10人用2棟の新築、カーポート設置

村創生総合戦略

- (2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり
施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値（H25）	KPI（R2）
観光PRイベント開催数	11回/年	18回/年
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標（KPI）	事業開始前	R1	R2	R3	R4	R5
移住交流拠点施設利用収入 （観光利用を含む）（千円）		—	3,500 千円	4,000 千円	4,500 千円	5,000 千円
実績値	—	—				
移住交流拠点施設利用者数 （観光利用を除く）（家族）		—	3家族	6家族	8家族	10家族
実績値	—	—				
企業受入数		—	0	1社	2社	3社
実績値	—	—				

②地方創生に効果があった

観光収入も見込めるコテージをお試し住宅として利用することで、新たな需要を掘り起こすことにつながる。

(地方創生拠点整備交付金) R1年度実績額：12,221,000円(拠点) 5,379,000円(推進)

南箕輪の新商品開発拠点整備計画

南箕輪村
令和元年8月～令和2年3月

事業の目的

地場産品のひとつである「大芝高原おもてなしプリン」が好評であるため、大芝の湯内の倉庫を模様替えし、増産できる体制を整える。また必要な設備を導入し、新商品の開発やふるさと納税の返礼品としての利用など、販路拡大を図る。

事業の概要及び実施内容

- ・施設内の改修（倉庫を製造工房として利用できるよう改修）及び製造設備の導入



村創生総合戦略

- (2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり
施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (R2)
観光PRイベント開催数	11回/年	18回/年
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年
「ふるさと名物」商品化件数	—	8件以上

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	R1	R2	R3	R4	R5
プリン販売収入 (千円)		—	7,000 千円	8,000 千円	9,000 千円	10,000 千円
実績値	5,500千円	—				
プリン新商品発売件数 (件)		—	1件	2件	—	—
実績値	—	—				
女性新規雇用者数 (人)		—	1人	—	1人	—
実績値	2人	—				

②地方創生に効果が あった

必要な施設整備を行うことができた。プリンフェスなど地域の菓子店などと連携したイベントにも取り組んでいる。

令和元年度地方創生交付金活用事業 KPI検証(R2.7.28 むらづくり委員会)

事業名		村の事業評価	むらづくり委員会の評価	
			事業評価	その他意見
地方創生推進交付金 (補助率 1/2)	伊那地域で女性が輝くためのプラットフォーム構築事業(広域連携事業)	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業(広域連携事業)	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

事業名		村の事業評価	むらづくり委員会の評価	
			事業評価	その他意見
地方創生拠点整備交付金(補助率1/2)	大芝高原味工房魅力アッププロジェクト	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	大芝高原「楽・わく・健康スペース」屋内運動場整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	人口増・子育て女性応援の村、南原保育園施設整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	生涯活躍いきいき交流拠点整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	観光とお試し移住拠点整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	南箕輪の新商品開発拠点整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

生涯活躍いきいき交流拠点整備計画

(大芝の福祉ゾーンに生涯活躍交流センター「こもれびの家」を新築)



訓練・作業室



作業室の一角には畳のスペースがあり、お昼寝もできます。



こもれび どんなと

手狭となってきた「ひまわりの家」の
「こもれびの家」は、よりたくさんの方に、
様々な設備を整えています。

ひまわりの家にはなかったショートス
一度に2人まで宿泊できるようになり
を男女で分けた、「明るい玄関
応え、明るく、心休まる雰囲気」の建
誰でも、どんなことでも利用
「こもれびの家」。新たな交
一員になってみませ



多目的トイレは浴室直結で、汚れても安心です。浴室には手すりがあり、体が不自
由な方でも使いやすくなっています。

こんな風に使ってます！

まほうの
おなべ



ボランティアグループ「まほうのおなべ」は子どもの居場所づくりとして、毎月第3
土曜日に食事会や蒟蒻作りなど季節のイベントを公民館などで開催していましたが、
今後は「こもれびの家」でも活動します。

「まほうのおなべ」は土曜日は放課後児童クラブがお休みで、預け先がなくて
困るという声から2018年に始まりました。参加費は100円で、助成金や寄付によって
運営されています。食事は唐揚げといった子どもに人気があるメニューをはじめ、
地元の野菜を使った煮物など昔ながらの料理をボランティアの方が作っています。

最初は3人だった参加者ですが、現在は10人程度に増え、利用されている保護者
の方からは「いつやるか、楽しみにしている。」「自分のリフレッシュにもなる！」
と好評です。

「まほうのおなべ」のお手伝いをしたいという方は、ボランティアセンター（村社協内） ☎76-5522
までご連絡ください。

問い合わせ

障がい者生きがいセンター ひまわりの家…… ☎76-7603
地域活動支援センター ぽっかぽかの家…… ☎76-7604
生涯活躍交流センター こもれびの家…… ☎98-5516

興味のある方は
お気軽に
ご連絡ください。



更衣室

男女別でトイレと更衣室が設置され、使いやすくなっています。



作業室

作業室は窓が大きく、開放感のある部屋になっています。

の家って こ?

別棟として建てられた
に利用してもらえるよう

デイの設備を完備し、
ました。ほかにも「休憩室
がいい」という要望に
物が完成しました。

できる
流の場をつくる
んか?



ショートステイ

事務室



玄関



玄関は天窗を2か所つくり明るい雰囲気。事務室は2面に窓を配置し来客に気づきやすいつくりになっています。

ベッドを2台用意し、一度に2人のショートステイが可能になりました。

オープンキッチンで広々。食器や電子レンジなども完備されています。



オープンキッチン

観光とお試し移住拠点整備計画

(お試し住宅として利用できる 10 人用コテージ 2 棟を新築)



完成時

外観



完成時

西棟外観



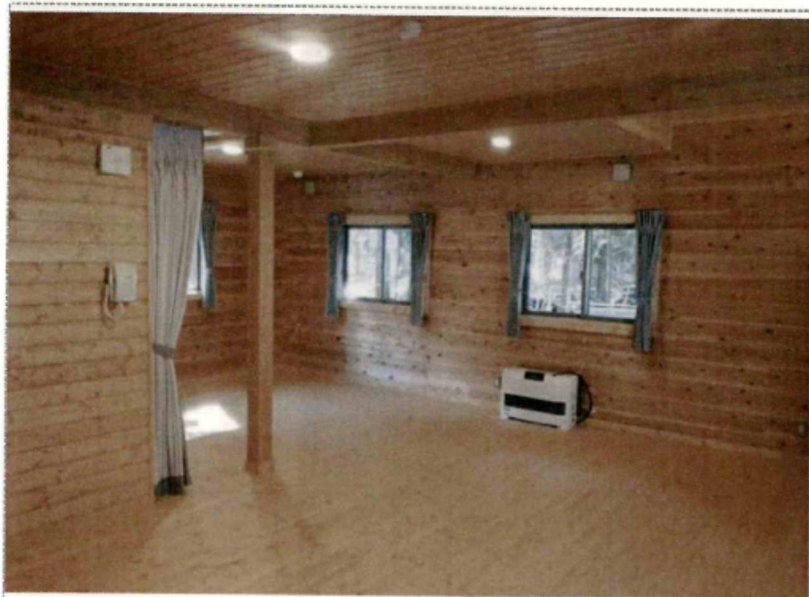
完成時

西棟外観



完成時

リビング・ダイニング



完成時

リビング・ダイニング



完成時

リビング・ダイニング

南箕輪の新商品開発拠点整備計画（大芝の湯の事務室・倉庫をプリン工房へ改装）

設置前



設置後



南箕輪の温泉施設「大芝の湯」が製造



プリンを作る(右から)
宮沢さん、堀越さん、
丸山さん、中藤さん

名物のプリン 担い手は母親

南箕輪村の温泉施設「大芝の湯」が上伊那地方産の卵と牛乳を生かして2年前に開発した「大芝高原おもてなしプリン」の製造を村内で子育て中の母親が担っている。プリンの人気が高まる中、施設がアルバイトとして雇った就業希望の母親4人は、温泉施設の貴重な戦力だ。

人気高まり貴重な戦力に

プリンを作る(右から)宮沢さん、堀越さん、丸山さん、中藤さん

この5月には宮沢幸子さん(38)と中藤晴佳さん(30)が加わった。宮沢さんは新型コロナウイルスの影響で夫の勤務時間が減る中、「少しでも家計を支えたい」と仕事に励む。中藤さんは出産を機に仕事を辞めていたため、仕事再開に「外の空気も吸いたかった」と喜んでいる。

施設は母親の負担軽減に配慮。堀越望さん(35)は未満児の次女を保育園に預けながら働く3児の母親で、「子どもが病気の時は施設が融通を効かせてくれる」。丸山好子さん(36)は「相談しやすい職場の雰囲気」に支えられている。「から自分たちで作れる仕事は楽しい」と話す。

プリンとは2018年7月に開業した「道の駅大芝高原」で販売を開始。イチゴ、ブドウ、ブルーベリーなど地元産食材を使った商品を9種類開発。施設の管理課長の原賢三郎さん(42)が1人で作ってきた。製造が追いつかず、村から紹介された就業希望の母親を受け入れた。